

## 平成30年上尾市教育委員会9月定例会 会議録

- 1 日 時 平成30年9月25日（火曜日）  
開会 午前10時3分  
閉会 午前10時56分
- 2 場 所 上尾市役所 教育委員室
- 3 出席委員 教育長 池野和己  
教育長職務代理者 細野宏道  
委員 岡田栄一  
委員 中野住衣  
委員 大塚崇行  
委員 内田みどり
- 4 出席職員 教育総務部長 小林克哉  
学校教育部長 今泉達也  
教育総務部 図書館長 関孝夫  
教育総務部次長 西嶋秋人  
学校教育部次長 石川孝之  
学校教育部副参事 兼 学務課長 伊藤潔  
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 瀧沢葉子  
学校教育部副参事 兼 中学校給食共同調理場所長 松本宣孝  
教育総務部 教育総務課長 森泉洋二  
教育総務部 生涯学習課長 小宮山克巳  
教育総務部 図書館次長 島田栄一  
教育総務部 スポーツ振興課長 長谷川浩二  
学校教育部 学校保健課長 荒井正美  
書記 教育総務課主幹 中釜ひろみ  
教育総務課副主幹 井上建一  
教育総務課主査 周曉蘭  
教育総務課主査 鳥丸美鈴
- 5 傍聴人 3人

## 6 日程及び審議結果

**日程第1 開会の宣告**

**日程第2 平成30年第1回臨時会及び8月定例会会議録の承認**

**日程第3 会議録署名委員の指名**

**日程第4 議案の審議**

議案第36号 平成31年度当初教職員人事異動の方針について

**日程第5 報告事項**

報告事項1 (仮)新図書館複合施設建設工事等の契約解除について

報告事項2 平成30年度図書館まつりについて

報告事項3 平成30年度学力・学習状況調査結果について

報告事項4 平成30年度上尾市教育委員会委嘱研究発表会について

報告事項5 平成30年度上尾市教育月間について

報告事項6 平成30年度上尾市中学校全国・関東大会出場者の結果について

報告事項7 平成30年度第1回生徒指導に関する調査結果について

報告事項8 平成30年8月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について

報告事項9 平成30年度就学時健康診断の実施について

**日程第6 今後の日程報告**

**日程第7 閉会の宣告**

## 7 会議録

### 日程第1 開会の宣告

(池野和己 教育長) おはようございます。ただ今から、平成30年上尾市教育委員会9月定例会を開会いたします。本日は、傍聴の申出はございますか。

(森泉洋二 教育総務課長) 3名の方から傍聴の申出がございます。教育長の許可をお願いします。

(池野和己 教育長) 傍聴を許可します。ご案内をお願いします。

~傍聴人入場~

(池野和己 教育長) それでは、日程に従いまして、会議を進めます。

### 日程第2 平成30年第1回臨時会及び8月定例会会議録の承認

(池野和己 教育長) 「日程第2 平成30年第1回臨時会及び8月定例会会議録の承認」についてでございます。平成30年第1回臨時会の会議録及び8月定例会の会議録につきましては、すでにお配りをし、確認していただいておりますが、ここで修正等がございましたら、お伺いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

~委員全員から「なし」の声~

(池野和己 教育長) それでは、承認することにご異議ございませんか。

~委員全員から「異議なし」の声~

(池野和己 教育長) 異議ないものと認め、第1回臨時会については内田委員さんに、8月定例会については細野委員さんに、それぞれご署名をいただき、会議録といたします。

### 日程第3 会議録署名委員の指名

(池野和己 教育長) 続きまして、「日程第3 本定例会の会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員は、中野委員さんをお願いいたします。

(中野住衣 委員) はい。

### 日程第4 議案の審議

(池野和己 教育長) 続いて、「日程第4 議案の審議」に入りたいと思います。本日は、議案1件が提出されております。「議案第36号 平成31年度当初教職員人事異動の方針について」説明をお願いします。

(今泉達也 学校教育部長) 議案第36号につきましては、伊藤副参事兼学務課長が説明申し上げます。

### ○議案第36号 平成31年度当初教職員人事異動の方針について

(伊藤潔 学務課長) それでは、議案第36号でございますが、議案書1ページ、2ページとなります。平成31年度県費負担教職員に係る年度当初の人事異動を実施するに当たりまして、計画的に適正な人事異動を推進するため、基本方針を定めたいので、提案するものです。別冊議案資料、埼玉県教育委員会の人事異動方針及び細部事項を併せてご覧ください。たいへん申し訳ありません。2ページと3ページ間の資料が抜けておりましたので、本日、別紙で配布させていただきました。この県の人事異動方針及び細部事項に基づき、市の方針では、大きな1番で基本方針について、2番で退職について、3番で転任・転補について定めています。昨年度まで、県と同様に方針と細部事項を別々に定めておりましたが、今年度は1つにまとめました。以上でございます。よろしくお願いいたします。

(池野和己 教育長) それでは、議案第36号について説明をいただきました。質疑、意見等がございましたらお願いいたします。

(大塚崇行 委員) 来年度コミュニティ・スクールが導入されるということがあると思います。その中で、人事異動に関して管理職の方に対して異動は慎重に行っていかなければいけないのかと感じているところですが、そのあたりの配慮といたしますか、考えといたしますか、そういったことはございませんでしょうか。

(今泉達也 学校教育部長) 管理職人事につきましてご質問いただきましたけれど、コミュニティ・スクール導入はもちろん念頭に置かなければならないかと存じますけれど、それにかかわらず、これまでどおり、適材適所という考え方で管理職人事につきましても進めてまいりたいと考えているところでございます。

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

(大塚崇行 委員) はい。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(岡田栄一 委員) 先程いただいた資料と上尾市のものを見ると、県の基本方針の6というのが女性教職員の登用とあって、上尾市の方は、転任・転補の9に入っているのですが、これは何か意味があるのでしょうか。

(伊藤潔 学務課長) 県の方の基本方針の中に入っている文言をみますと、主に女性の登用について書かれていて、管理職登用というのは県教委の行う人事でございます。上尾市の場合は、転任・転補のところ、女性教職員につきましても、適性を考慮して個々の能力が十分に発揮できるよう配慮するというところで、こちらの方をメインに加えました。

(岡田栄一 委員) わかりました。結局、内容的にはかわらないということですね。

(池野和己 教育長) よろしいですか。他にございますか。

～委員全員から「なし」の声～

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。それでは、他に、質疑、意見等がないようですので、これより採決いたします。「議案第36号 平成31年度当初教職員人事異動の方針について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(池野和己 教育長) ご異議がないものと認め、原案どおり可決いたしました。

## **日程第5 報告事項**

(池野和己 教育長) 続きまして、「日程第5 報告事項」でございます。本日は、9件の報告事項がございます。よろしくお願いいたします。

(小林克哉 教育総務部長) 別冊の報告事項のご用意をお願いいたします。1枚開いていただきまして、左側の報告名をお願いいたします。「報告事項1 (仮) 新図書館複合施設建設工事等の契約解除について」及び「報告事項2 平成30年度図書館まつりについて」は島田図書館次長より説明いたします。

### **○報告事項1 (仮) 新図書館複合施設建設工事等の契約解除について**

(島田栄一 図書館次長) 報告事項の1ページをご覧ください。「報告事項1 (仮) 新図書館複合施設建設工事等の契約解除について」ご報告いたします。新図書館複合施設につきましては、計画の見直しにつきまして、市議会6月定例会の一般質問におきまして、市長の判断を表明させていただきました。工事につきましては、昨年度から一時中止をしておりましたが、1ページにお示しした工事と施工管理業務の計7契約につきましては、7月9日付で契約解除を行いましたので、ご報告申し上げます。

### **○報告事項2 平成30年度図書館まつりについて**

(島田栄一 図書館次長) 引き続き、「報告事項2 平成30年度図書館まつりについて」ご報告いたします。報告事項の2ページから3ページをご覧ください。図書館につきましては、秋の読書週間にあわせまして、市民がより身近に図書館を利用してもらうことを目的に、「図書館まつり」を市民ボランティアの協力で行います。恐れ入りますが、3ページをご覧ください。開催時期でございますが、10月7日から11月10日まで、会場は図書館本館と大谷公民館図書室、文化センターを予定してございます。事業といたしましては、期間中8事業を予定しているところでございます。主な事業でございますが、最初の1行目になります。10月7日の図書館寄席でございますが、大学生によります寄席を楽しんでいただきます。これにつきましては、一昨年前から引き続き実施しております。上尾市図書館では3回目となります。また、今年度は市制施行60周年となることから、記念事業といたしまして、4行目の藪内正幸原画展を開催するほか、下から2行目の文芸講演会については文化センターで開催を予定しているところでございます。一番下の行でございますが、10月28日

は大谷公民館で行います分館企画「バムとケロのにちようび ～絵本の読み聞かせとドーナツづくり～」は、絵本の読み聞かせをしながら、はなしの中で登場するお菓子を参加者がつくるといふ物語世界を体感するというものです。他にも各事業を3ページ目に一覧表としておりますので、ご覧ください。説明は、以上でございます。

(今泉達也 学校教育部長) 「報告事項3 平成30年度学力・学習状況調査結果について」から「報告事項8 平成30年8月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について」までは瀧沢副参事兼指導課長が、「報告事項9 平成30年度就学時健康診断の実施について」は荒井学校保健課長がそれぞれ報告申し上げます。

### ○報告事項3 平成30年度学力・学習状況調査結果について

(瀧沢葉子 指導課長) 4ページをお開きください。「報告事項3 平成30年度学力・学習状況調査結果について」でございます。5ページの全国学力・学習状況調査結果概要をご覧ください。今年度は、理科が加わり3教科で行われました。上の表は今年度、下の表は昨年度の結果でございます。小学校は、全ての教科で、国、県ともに平均正答率が下回りました。特に、算数、理科においては全国との差が2ポイント下回っております。中学校は、活用を測る数学Bが国、県と同値で、そのほかはわずかながら下回っております。続きまして、6ページをお開きください。埼玉県学力・学習状況調査の結果でございます。小学校では、小学校第4学年は国語、算数ともに平均正答率が県を下回りました。また、算数は全学年において下回っております。中学校では、全ての学年で、国語、数学ともに県の平均正答率を上回っております。結果を受けまして、各学校では、結果を分析し、具体的な改善方法を示した後期学力向上プランを作成して授業改善に取り組んでまいります。教育委員会では、課題であります小学校算数科に関する「学力向上プロジェクト研究会」を今年度設置し、研究員による授業研究会を実施するほか、授業改善の視点を示したリーフレットなどを配布していくなどして、各学校の学力向上の取組を支援してまいります。

### ○報告事項4 平成30年度上尾市教育委員会委嘱研究発表会について

(瀧沢葉子 指導課長) 続きまして、7ページ、「報告事項4 平成30年度上尾市教育委員会委嘱研究発表会について」でございます。8ページ、開催一覧をご覧ください。今年度から、開催日を減らし、複数校が同日に開催し、研究発表会の内容も各校で工夫して実施することに変更しております。11月21日の東中学校は文部科学省、11月22日の大石小学校は国立教育政策研究所の指定も兼ねており、単独実施となっております。教育委員の皆様には、順次、ご案内をさせていただきます。

### ○報告事項5 平成30年度上尾市教育月間について

(瀧沢葉子 指導課長) 続きまして、9ページ、「報告事項5 平成30年度上尾市教育月間について」でございます。10ページ、各校の取組をご覧ください。上尾市教育月間は、各学校で学校公開を実施するほか、外部講師を招いた学習教室を行うなど各校で特色のある教育を展開しており、保護者や地域の皆様に学校に来ていただける機会となっております。

### ○報告事項6 平成30年度上尾市中学校全国・関東大会出場者の結果について

(瀧沢葉子 指導課長) 続きまして、11ページ、「報告事項6 平成30年度上尾市中学校全国・関東大会出場者の結果について」でございます。12ページ、結果一覧をご覧ください。向原分校が、

横浜スタジアムで行われた男子軟式野球全国大会において、ベスト4という好成績をおさめたほか、出場選手が各大会において善戦したという報告を受けております。

#### ○報告事項7 平成30年度第1回生徒指導に関する調査結果について

(瀧沢葉子 指導課長) 続きまして、13ページ、「報告事項7 平成30年度第1回生徒指導に関する調査結果について」でございます。14・15ページ、調査結果をご覧ください。今年度4月から7月における生徒指導に関する調査をまとめたものです。「暴力行為発生件数」、「いじめ認知件数」、「不登校児童生徒数」の「前年度までの同期の比較」につきましては、資料のとおりでございます。

#### ○報告事項8 平成30年8月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について

(瀧沢葉子 指導課長) 続きまして、16ページ、「報告事項8 平成30年8月上尾市小・中学校いじめに関する状況調査結果について」でございます。11ページをご覧ください。新規認知、解消件数は資料のとおりでございます。以上でございます。

#### ○報告事項9 平成30年度就学時健康診断の実施について

(荒井正美 学校保健課長) 「報告事項9 平成30年度就学時健康診断の実施について」報告いたします。18ページをお願いいたします。当事業は、毎年度実施しております、翌年度入学予定の新小学1年生を対象とした、入学前の健康診断を実施するものでございます。今後のスケジュールといたしましては、10月上旬に受診対象者の保護者に「就学時健康診断のお知らせ」のはがきを郵送し、19ページの表、こちらはたいへん申し訳ありませんが印刷が不鮮明でしたので、本日お配りした差替えのものをご覧ください。こちらの表にございますとおり、10月26日から11月30日まで、それぞれの小学校で実施するものでございます。以上、報告とさせていただきます。

(今泉達也 学校教育部長) 報告は、以上でございます。よろしくをお願いいたします。

(池野和己 教育長) ありがとうございます。ただ今、報告事項につきましてそれぞれ説明をいただきました。これにつきまして、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

(岡田栄一 委員) 図書館の契約解除のことですが、契約解除に対する違約金は発生したのでしょうか。

(島田栄一 図書館次長) 違約金ということでお話があったのですが、契約上ですが、約款には一時休止後6か月を経過した場合、損害が認められる場合は損害賠償というのがございまして、違約金ということではなくて、損害賠償というもので現在協議を進めているというところでございます。

(岡田栄一 委員) わかりました。ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(細野宏道 教育長職務代理人) ご報告ありがとうございました。まず、4ページの学力調査についてお伺いをします。全学調、県学調、そして上学調とあります。上学調の実施時期を上尾市はずらしました。効果があったかどうかということについて、まず、お伺いをしたいと思います。

(瀧沢葉子 指導課長) 以前、同じ時期にやっていたのと比べまして、全国と県の学力調査の結果が出るわけですが、表の数値だけではわかりませんが、項目ごとに、どこの分野が弱いかというようなことを各学校で把握して、その課題に対応して、1月の上尾市の学力調査を受けるところで、そういう検証サイクルができたということにおいて効果があったというふうに考えております。

(細野宏道 教育長職務代理人) PDCA、いい方は別にしましても、それができてきたなとは思いますが、上尾の学力調査の目的というのをもう一度、教えていただけませんか。何のために上尾の学力調査をやるのか。上尾学調の問題がある業者さんのテストを使っているということを知っているのですが、テストが現実の学力調査と実情と合っているのかと、すなわち、けっこう古い問題が出ているということを知ったのですが、目的というのが、これまでずっとやってきたので、これまでのデータの蓄積があると思います。そのデータの蓄積を重視するのか、そうではなくて、最近の学力をほんとうに調査するために必要なのかということを知りたいのか。もちろん、予算の面というのもあるのかと思うのですが、それがあって、上尾学調の目的というものを伺いました。

(瀧沢葉子 指導課長) 3つの調査は、やはり性質が違ってきます。上尾市の学調につきましては、標準的な、標準値と言われますもので、今までの過去の蓄積ということももちろんですし、標準的な問題に対して全国と比較して児童生徒がどれだけの力を身に付けているかということがわかるという点で価値があるというふうに思っております。県学調は児童生徒の伸びをみるというようなところで、問題は公開されていませんが、指導方法の効果について測ることができますし、全国の方はいわゆる新しいといひましようか、B問題といわれるような活用と基礎を融合したような今後の資料改善に資するというようなところも大きいと思っております。それぞれ、調査の目標、目的が少しずつ違うところがあると思います。

(細野宏道 教育長職務代理人) ありがとうございます。

(今泉達也 学校教育部長) 補足ですけれど、今、指導課長から標準的という話がございましたが、標準的というのは、あくまでも、学習指導要領に沿っているということでありますから、必ずしも、古いということはないと認識しています。それから、こちらから指導課長から話がありましたが、あくまでも、学校とか、学校の授業改善、それから、私たち市の教育委員会の施策の改善といひましようか、そういうものを調査によって、みて、そして、さらに進めていくというようなことは、当然ありますが、もう一つは、全国は国、県は県でもって調査しておりますけれど、やはり、上尾市の子どもたちの学力は、上尾市の私たち教育行政が責任を持って調査するというのが一番大きいと、それは私たちの使命だと考えております。

(細野宏道 教育長職務代理人) ありがとうございます。



(池野和己 教育長) 私からも補足させていただきたいのですが、全国と県と上尾市と3つの学力調査があるわけですが、全国は今部長が言ったとおり、日本国として学習指導要領の中に詰められている近未来的なものの、言われている新しい学力観的なものについて、非常に国は注視して問題を作られているかと思いますが、これはあくまでも、国は国として児童生徒の学力を把握するために全国学力・学習状況調査を行っている。したがって、今年度まで行われていたA問題、B問題が新聞で報道されているように、来年度、一気になくなってしまう。これは、あくまでも、国はそういう意味で国全体の学力の状況を把握するために国がやっているということですから、報告事項の5ページにありますように、平成29年度と平成30年度を比較しても、平成29年度の小学校6年生と中学校3年生、今年度の小学校6年生と中学校3年生は、全く母集団が違うわけであって、この二つの年度の違いを比較しても、そこからは有為的なものは、上尾市にとってはあまり出てきません。ただし、状況が把握できる。それから、県は、先程も出ていましたが、子どもの伸びまでみられるようにしてくださいとはおりますけれども、しかし、毎年度、小学校5年生と中学校2年生の通過する1か年の分しか出てきません。上尾市は、本来的には上尾市の小・中学校の児童生徒の学力について責任を持つべき立場にありますから、複数学年について、おって、子どもたちに対しての個票を渡して、子ども自身の伸びがどれくらいあるかということをきめ細かく見るためにやっているものですから、上尾市の学力・学習状況調査については、行政という立場で、児童生徒の学力に対する次の方策は何を打つべきかということに対する有為性のある資料をいただけるとともに、子どもたち自身に、中学校3年生までずっとですから、子どもたちは、毎年度、毎年度出てきた成績が自分の手元に戻りますから、それをもって、自分の学力がどのくらい伸びていくかということを見ていって、絶対評価的に評価の結果が出てきます。相対評価的に他の子どもたちに比べてどうですかということもたいへん重要な意味のある情報ですが、子ども自身が昨年度と今年度を比較して、どれくらい学力が伸びてきたかということが、きめ細かに見られるという点で、その3つの調査は、それぞれに、目標が違いますので、そういう点でみていただけるとありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(細野宏道 教育長職務代理者) ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(内田みどり 委員) 同じく学力調査の結果の件です。イメージがつかないのですが、この学力の状態というのは、全体的に学力が若干落ちているとらえた方がよいのか、それとも、実際のところは、ある程度の子たちはできているけれども、一部のついていけない子どもたちがいて、平均点を下げているという状態なのか、そういった分析みたいなことはされているのでしょうか。

(瀧沢葉子 指導課長) 学力については、全体的に下がっているということでもない認識しております。個々に、その時、その時の子どもたちの構成で中間層が多いとか、学力がもうちょっとの階層が多いとか、そういったことがあろうかとは思いますが、そういうことではないと思っております。では、なぜ下がっているかということにつきましては、いろいろ要因分析をしているところです。学校によっても、その要因はいろいろ違いますし、授業のあり方なのか、家庭学習なのか、いろいろなところの要因分析をしながら、それぞれの課題に向けて各学校で具体的な取組をしていくというところでございます。

(内田みどり 委員) はい。ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(中野住衣 委員) 学力調査について、私も質問させていただきます。今、内田委員さんからお話がありました。今回の全学調、県学調の結果について、なかなかこの結果だけでは上尾市の児童生徒の学力というものが分からないかもしれませんが、一つの数値で明らかにされたことは、ある部分での学力定着の目安になるのかと考えます。指導課長からお話があったように、これから要因分析をするということですが、実際に学校を訪問して授業の様子を拝見したり、取組を伺ったりすると、プラスの評価をさせていただいている部分ばかりで、例えば、授業中の指導につきましても、先生方が状況分析の下に丁寧に学習指導を行っておりますし、上尾市は大型テレビが設置されていますので、特に課題である算数数学等はテレビの活用でプラスの結果を出していると思います。ですから、授業について丁寧に工夫した取組を行い、働き方改革にも関係しますが、休み時間もなく、テストを行えば必ず間違い直しをさせ、わかるまで、できるまで見取っていく、家庭学習も奨励し、各ノートを毎日見取り指導していくことを継続している。そういう実態の中から、この結果を見ると、どうしてなのかと内田委員さんがおっしゃったように、実態がなかなか見えてこないのです。原因をいろいろ考えますが、最終的には、授業へと行きつきます。そのへんのところで、今後どういう方策、授業改善の余地があるのか、実態がよく見えないので、解決の方策もわかりません。ぜひ、各学校の現場の先生方の声を十分に反映させ、上尾市としての取組を考えてほしいと思います。3つの調査の目的も今のお話でよく分かりましたので、それを踏まえて、新しい策を講じ、確かな学力を上尾市の児童生徒一人一人に付けたいと考えます。以上です。

(池野和己 教育長) この表のことで、もう一度だけお話しさせていただきたいのですが、5ページを見ていただきたいと思います。その表の中で、たとえば、小学校の国語Aというのがございます。それを見ますと、全国の正答率の平均が70.7なのに対して、上尾市が70.0なのです。ということは、その差は0.7パーセントなのです。つまり、これを低いとみるのかということなのです。ですから、逆にいえば、正答しなかった方の平均は、29.3パーセントというのが全国で、上尾市の場合それは0.7パーセント高い30パーセントなのです。その隣の国語Bを見ますと、全国が54.7パーセントしか正答率がないのです。ということは、45.3パーセントは間違っているということになります。しかし、気を付けなければいけないのは、これは平均なのです。ですから、その基にある一人一人の子どもたちの学力は、あくまでも、本来は学力というのはその子どもにとっての学力なのです。ですから、ここに出てくる平均というのは、行政上私たち教育委員会は何かに間違いがないかどうかということをしちっとみななければいけないという立場にあるわけですが、当然ながら、国は国で分析していただけます。そうすると、小学校の国語Bでいうならば、何と半分弱の子どもが正答できなかった。それに対して、ほとんど上尾市も割合的に同じなのです。ですから、私は要するにX軸、Y軸をとったときに、Y軸のところのとりポイントをどのくらいポイントをとるかによって、大きくも小さくもなってしまう。ですから、ここに出てくるのは平均ですから、この平均の中から読み取るということが非常に重要なので、ほぼ、その正答できなかったことの原因は、全国ほとんど大きな差はないのかと、私は思っています。したがって、その中で同じような傾向が出てきていますけれど、たとえば、全国が正答率70.7パーセントのところを上尾市が50パーセントしかいないということになれば、これはたいへんな差だと私は思いますけれど、70.7と70.0のこの0.7は、私はあまり重視をするのではなくて、それより、個々の子どもたちがどのくらい学力がほんと

うに伸びたかどうかということ、委員さん方がおっしゃってくださっているように、各学校現場で先生方を中心にしてしっかりその学校の状況をみていただいて、より指導が徹底できる方向を模索していかなければいけないと考えていますので、このように出てくるデータは、埼玉県が、たとえば、いつも新聞などを見ますと、全国で低い方にあるとか出ますけれど、あれなども、47都道府県を数値で表せば、トップの秋田県ですとか福井県ですとか出ていて、下の方の県も出ていますけれど、数値で並べれば、あくまでも、相対評価ですから、数値ですから0.1でも低ければ下になってしまう。ただ、その幅を見てみると、ほとんど正答率は北海道から沖縄まで、全国の差はないのです。ですから、あまりにも、数値だけにとらわれてしまい、これはたいへん大きな課題だとみるのか、全国の数値と上尾市、埼玉県の数値をみて、同じような課題があるということ、私はみて思うのですが、ほとんど同じくらいの数値が出ていて、並びますから0.7とか0.1とかなるわけです。ですから、中学校も国語Aを見てみると、76.1と76.0ですから、上尾市は残念ながら0.1低かったとなるのですが、これは全国とほとんどかわらないとみる方が私は分析的にはよいのかと思っていますが、同じように課題があるわけですから、あとの24パーセントを子どもたちが解答できなかったというところに課題があるわけですから、それを上尾市は上尾市で分析していきますが、埼玉県は埼玉県の学調、全国は全国の学調の分析結果をいただけますので、それもみながら、検討していけばと思っています。以上です。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(細野宏道 教育長職務代理者) 今日報告していただいたこととはずれるかもしれませんが、9ページに上尾市の教育月間について、今年の教育月間ということで各33校でいろいろなことをやっていたというのですが、これは教育の月間に各学校がいろいろなことに取り組むということで記載をしていただいています。先程、大塚委員からもありましたけれども、来年、30校でコミュニティ・スクールが導入をされるということで、コミュニティ・スクールの導入に際してのスケジューリングといえますか、すでに導入している3校が何回か学校運営協議会を開いているという情報はいただいておりますけれども、上尾市におけるコミュニティ・スクールの長所、それから問題点、特に問題点だと思うのですが、そのへんをどうフィードバックして残りの30校にやっていくというようなスケジュールというようなものをお聞かせいただければと思います。

(瀧沢葉子 指導課長) 後ほど、詳しいスケジュールについては、報告させていただきますが、今年度中に新規の学校の管理職への研修、新しく委員になられる方への研修、それから、運用をしていく際の細則というようなものも示していく予定でございます。以上です。

(細野宏道 教育長職務代理者) はい。わかりました。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(岡田栄一 委員) テレビで、インフルエンザがもう流行し始めているということなのですが、上尾市の状況と、この間、北足立北部の学校歯科保健コンクールがあったのですが、何か情報があったら教えてください。

(荒井正美 学校保健課長) インフルエンザにつきましては、9月18日に小学校1校で1名が罹患したという情報を得ております。北足立北部の学校歯科保健コンクールにつきましては、20日に審査会が行われましたが、具体的な報告については手元にデータがないのですが、上尾の方からかなりの数が審査を通過して県にあげることになっているということです。数については、後で報告をさせていただきます。

(岡田栄一 委員) ありがとうございます。

(池野和己 教育長) 他に、お願いいたします。

(中野住衣 委員) 今年度の図書館まつりについてです。3ページに今年度の催しですが、1年生というところにも興味深い催しを企画していただいたということで、ありがとうございます。この催しの内容をみますと、一般的には小学校高学年から中学校を対象にしたものというのはなかなかないのですが、そのへんについては何か話題にのぼったものはあるのですか。何かありましたら教えてください。

(島田栄一 図書館次長) 委員さんご指摘のとおり、図書館で一番利用率が低くなっているところで、今回の図書館まつりでは対象の子どもさんたちは予定しておりませんので、図書館の本来の業務の中で、よく青少年というような位置づけもあるのですが、図書の貸出しや事業への参加促進に向けて努力していきたいと考えております。

(中野住衣 委員) ありがとうございます。今おっしゃられたように、中学生がなかなか本離れをしているというようなことがいろいろな調査であがってきますので、何かこういう機会も参加を促すのが難しいと思うのですけれど、何か本を読みたいなという契機になるような取組もあるとよいかなと思いましたので、よろしくお願いします。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(大塚崇行 委員) いじめに関してなのですが、今までからすると積極的に認知をしていくということで件数が少し増えているように見えるのですが、それと解消するところが今までからすると少し遅いのかなと感じるところがあるのですが、このあたりはいかがでしょうか。

(瀧沢葉子 指導課長) いじめの認知につきましては、おっしゃられたとおり丁寧に対応している表れだと思います。解消につきましては、1件1件確認しており、たいへん丁寧にみて、本人も大丈夫だ、保護者も大丈夫だということですが、解消に時間がかかっているのは、もう少しみてほしいというようなことがあれば、急いで解消にしないということを統一しております。

(池野和己 教育長) 県からの指導は何か月ですか。

(瀧沢葉子 指導課長) 3か月です。

(池野和己 教育長) 軽微なものも含めて、3か月は継続的に見届けをし、最終的にその3か月をある程度一つの目安にして、解消されているという判断をしているという状況なものですから、前に比べると、学校サイドで軽微だからすぐに解消しましたということが前にはあったのですが、今、埼玉県では全県的に県教委の指導で最低3か月は見届けることになっていますので、少し解消するまでの期間が長くなっていると理解していただきたいと思います。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(内田みどり 委員) 生徒指導の、いじめとは別の問題なのですが、昨年9月11日に上平地区の中学3年生の子が亡くなられて1年経ちました。今年も、亡くなられた現場には、たくさんのお花が供えられておりました。今、保護者の中で話されているのですが、事故に対して、携帯を操作していたのではないかと、見通しのよい現場だったので、そうなると、事故に遭いやすいということもあると思うのです。それから、中学3年生、塾に通われる子どもが増えてまいります。そうなってきたときに、うっかりして命を落としてしまうということもございますので、生徒指導の一環として、ぜひ、学校に携帯を操作しながらの自転車の走行ですとか、イヤホンをつけたままの自転車の走行ですとか、そういったご指導をもう一度お願いしたいと思います。よろしくお願いします。

(池野和己 教育長) はい。ありがとうございます。これについては、荒井課長お願いします。

(荒井正美 学校保健課長) 自転車乗車中の事故につきましては、今年度、校長会議複数回を通じて、学校現場に生徒指導を徹底するように伝えているところでございますので、今後も、注意喚起を行っていききたいと思います。特に、自分の命は自分で守るという意識を持たせる中で、しっかり子どもたちに指導ができればと思っています。

(池野和己 教育長) 他にありましたら、お願いします。

(中野住衣 委員) 先程、いじめのことが出ましたが、いじめを根本的になくしていくには、教育長からお話があったように、積極的な認知と、やはり、一人一人苦しんでいる児童生徒のために、長期間しっかり見守りをして、解決するというスタンスでいくということに理解しています。運動会で学校を訪問してお話を聞いたことですが、いじめの指導で少し難しい面があると耳にしました。それは、いじめが起きてしまうと、わが子を心配した保護者からいじめた生徒と一切関わらせない方法で指導してほしいと要請があり、学校としては、中学生ということで生徒同士で話し合いをさせ、解決の方向に進んでいくように、双方の生徒のその後の成長につながるよう生徒指導を考えるものの、なかなか難しい面があるということです。いじめの内容も、時代でやはり変わっていくもので、様々なケースに対応して指導することが難しくなっていると思いました。お話の中の保護者の方の思いもわかるし、生徒自身に話し合いをさせて解決させ、双方が健全に成長していく機会となるよう指導していくことも大切だと考える先生の思いもわかるし、難しいとしみじみ思いました。いじめは昔からどこにでもありましたが、状況は違ってきました。いじめの解決について、教育に携わる者は、様々な側面から考えていかなければいけないと最近自分が耳にしたことで思いましたので、よろしくお願いします。

(池野和己 教育長) 他にありますか。

(岡田栄一 委員) 今のいじめのことですけれど、皆さんも朝ドラを観ていて、今日話題になっていたのですが、転校というのは、いじめる方、いじめられる方もそうですが、転校したいと言った場合には、学校側としてはどういう対応をとるのでしょうか。

(伊藤潔 学務課長) 基本的には、転校をもってして、いじめの事象を解決するというのは、ベストの方法ではないと思います。ですから、それに至ったさまざまな要因ですとか、人間関係をいかにして乗り越えて成長させていくかということが大事なので、ただし、最終的に、学校を移るということでしか解決の方法がないであろうというふうに、保護者も、教育委員会も判断した場合は、そういう判断をする場合もあります。

(岡田栄一 委員) ありがとうございました。

(池野和己 教育長) 他にございますか。よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(池野和己 教育長) ありがとうございました。それでは、いろいろ質問もありましたが、また、ご意見もいただきましたので、こちらもそれらに対応してまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。報告事項については、以上で終了とさせていただきます。

## **日程第6 今後の日程報告**

(池野和己 教育長) それでは、今後の日程報告をお願いいたします。

(森泉洋二 教育総務課長) それでは、10月の主な日程をご案内させていただきます。10月6日、上尾市市制施行60周年記念式典が上尾市文化センターで開催されます。同日、東中学校向原分校の体育祭が予定されております。7日は、市制施行・体育協会創立60周年記念第60回上尾市民体育祭が上尾運動公園陸上競技場で開催される予定です。13日は、平方幼稚園運動会が予定されております。17日は、上尾市小学校陸上競技大会が上尾運動公園陸上競技場で開催されます。また、市制施行60周年記念第50回上尾市美術展覧会が16日から21日までの日程で上尾市コミュニティセンター及び上尾市民ギャラリーで開催されます。18日は、教育委員会10月定例会が午前9時30分から開催予定でございます。先ほど指導課からの報告事項にもございましたが、10月15日に平方東小学校、上平中学校において委嘱研究発表が行われる予定でございます。日程につきましては、以上でございます。続けて、事務局から報告させていただきます。岡田委員さんの教育委員の任期につきましては、今月末の9月30日で満了することとなっております。本日の定例会が、岡田委員さんの出席される最後の定例会となりますことを報告させていただきます。

(池野和己 教育長) それでは、ただ今事務局からお話がありましたとおり、教育委員として本市の教育行政にたいへん大きなご功績をいただきました岡田委員さん、今月末でご退任ということになります。岡田委員さんにおかれましては、出席をいただく定例会が本日が最後となりますので、ここで岡田委員さんよりご挨拶をいただきたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

(岡田栄一 委員) 早いもので6年間、教育委員を勤めさせていただきました。皆さんにはお世話になりました。ありがとうございました。家で、診療をやっているときには、まず皆さんと、知り合えないような方々といろいろな方と知り合うことができ、私の人生を考えたときに、すごく有益なことであったと思っています。教育委員をやっていたからということではありませんが、いろいろなところで役が回ってきまして、いろいろと忙しい面もあるのですが、そういう意味では6年間、すごく充実した時間を過ごすことができました。ほんとうにありがとうございました。今後とも、立場は替わるのですが、上尾市というか、北足立全体のことですが、引き続き、子どもたちのために努力していきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

(池野和己 教育長) ありがとうございました。それでは、その他、委員の皆様からご意見、ご要望等ありましたら、お願いいたします。

～委員全員から「なし」の声～

(池野和己 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

## **日程第7 閉会の宣告**

(池野和己 教育長) ありがとうございます。それでは、以上で予定されておりました本日の日程はすべて終了いたしました。これをもちまして、上尾市教育委員会9月定例会を閉会いたします。たいへんお疲れ様でございました。

平成30年10月18日 署名委員 中野 住衣